

## 北陸新幹線シンポジウムを開催 「高速交通時代と若狭路地域づくり、広域交流時代と関西・若狭」

古代には大陸と都をつなぐ対外交流のゲートウェイであり、中世からは諸国を結ぶ海運の一大拠点であった若狭路。舞鶴若狭自動車道や京都縦貫自動車道が開通し、北陸新幹線全線開業により、関西・中京・北陸・首都圏が結ばれます。

関西圏との交流によって育まれた地域資源の集積と、広域交流の拠点として発展してきた若狭路の歴史的経緯を踏まえ、新たな往来から生まれる一大交流文化圏の可能性と将来像を語り合いました。

### 講話① 政策研究大学院大学教授 家田 仁 氏

「多様化する新幹線の機能と総合的取り組みの重要性」

### 講話② 公益社団法人関西経済連合会 副会長 角 和夫 氏

「“はなやか関西”と若狭路への期待」

### パネルディスカッション

NPO全国街道交流会議 代表理事 藤本 貴也 氏

政策研究大学院大学教授 家田 仁 氏

公益社団法人関西経済連合会 副会長 角 和夫 氏

福井大学大学院工学研究科教授 川上 洋司 氏

小浜市副市長 東 武雄



講話(左)家田仁氏 (右)角和夫氏



パネルディスカッション